



株式会社ビー・エム・エル

2024年度決算説明会

2025年5月9日
代表取締役社長
近藤 健介

目次

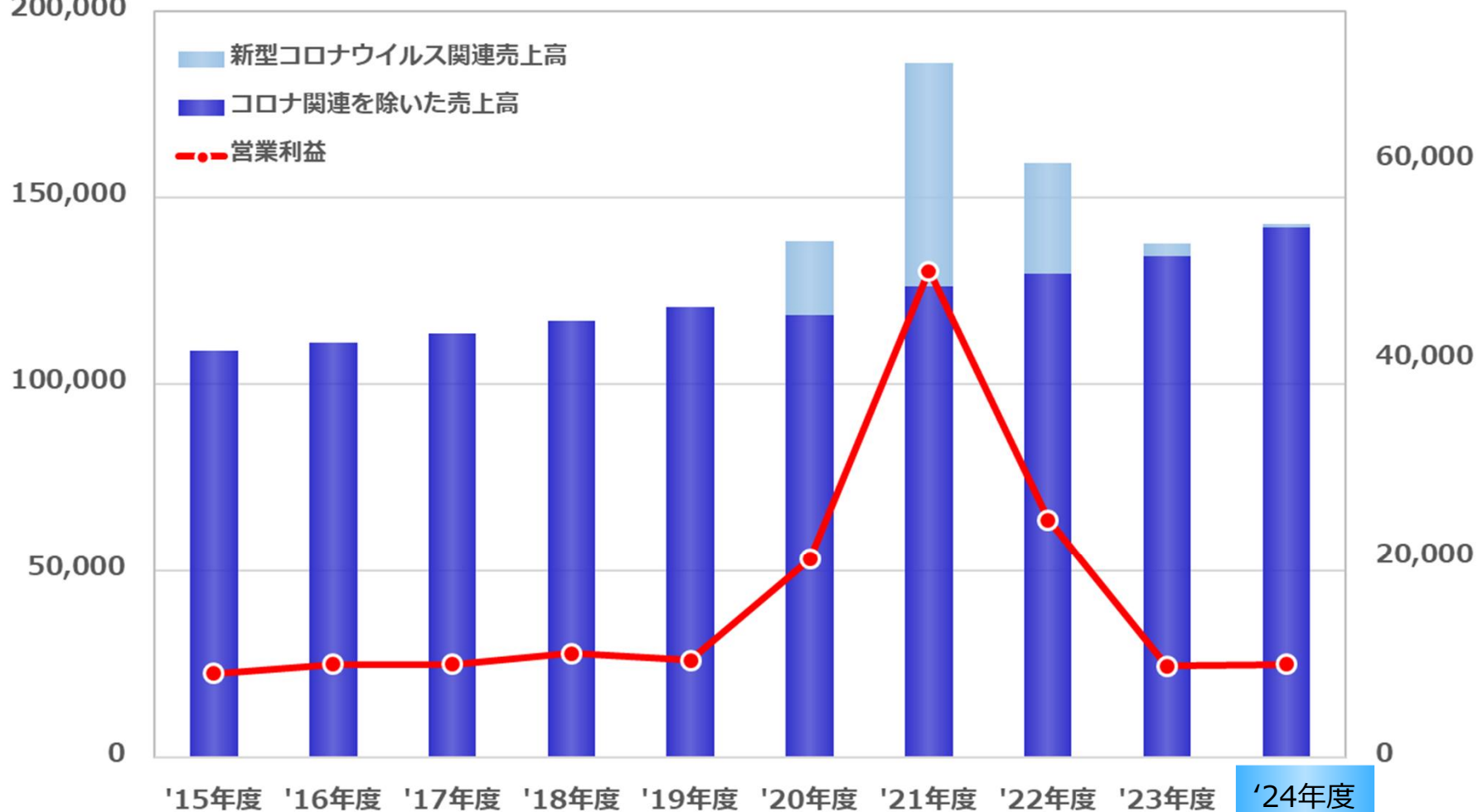
- 2024年度決算業績概要
- 第9次中期経営計画の進捗
- DXへの取り組み
- ファルコホールディングスとの資本業務提携の進捗
- 2025年度通期の見通し・株主還元

2024年度決算業績概要

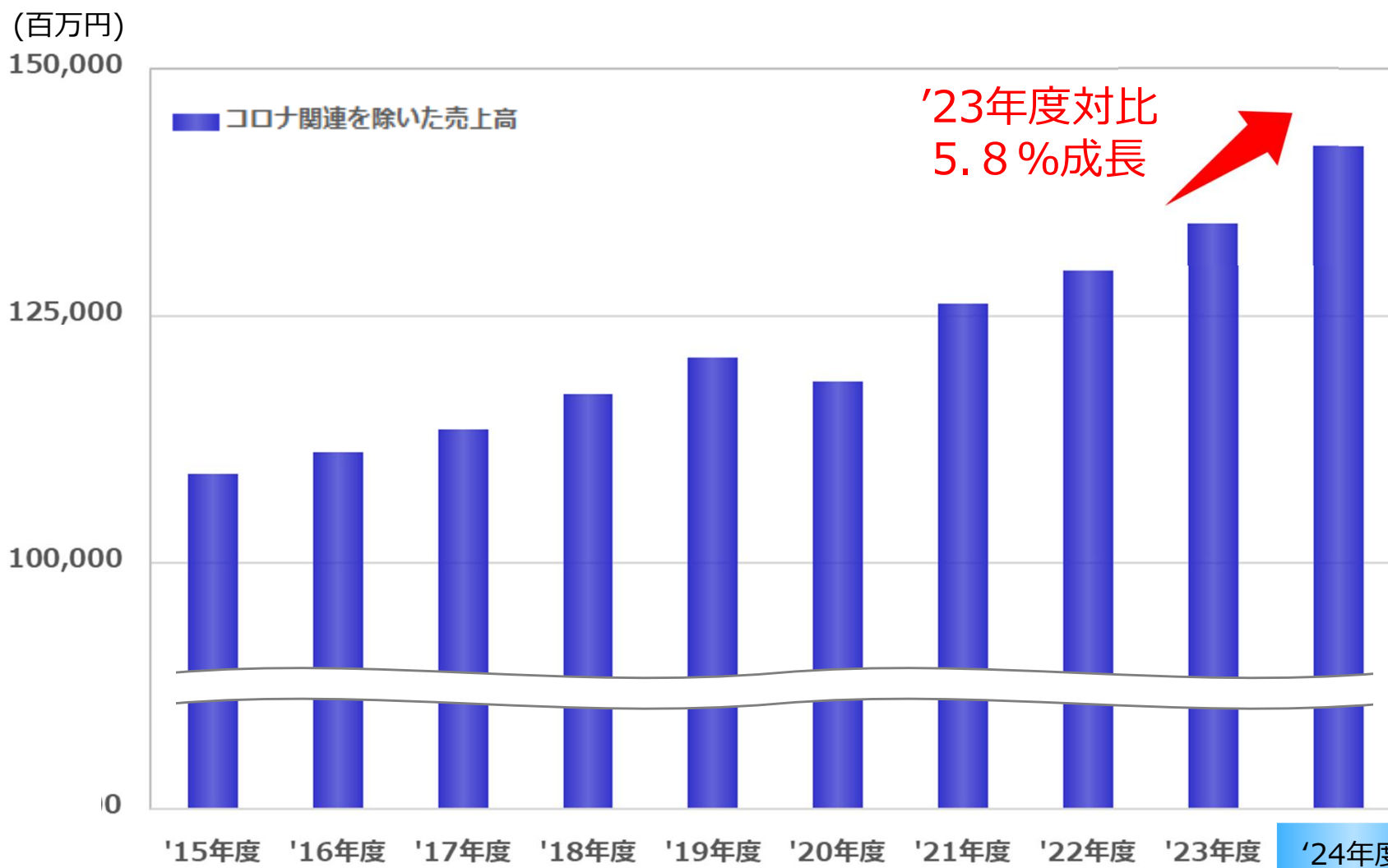
コロナ関連検査が減少したものの増収・増益

売上高
(百万円)
200,000

営業利益
(百万円)



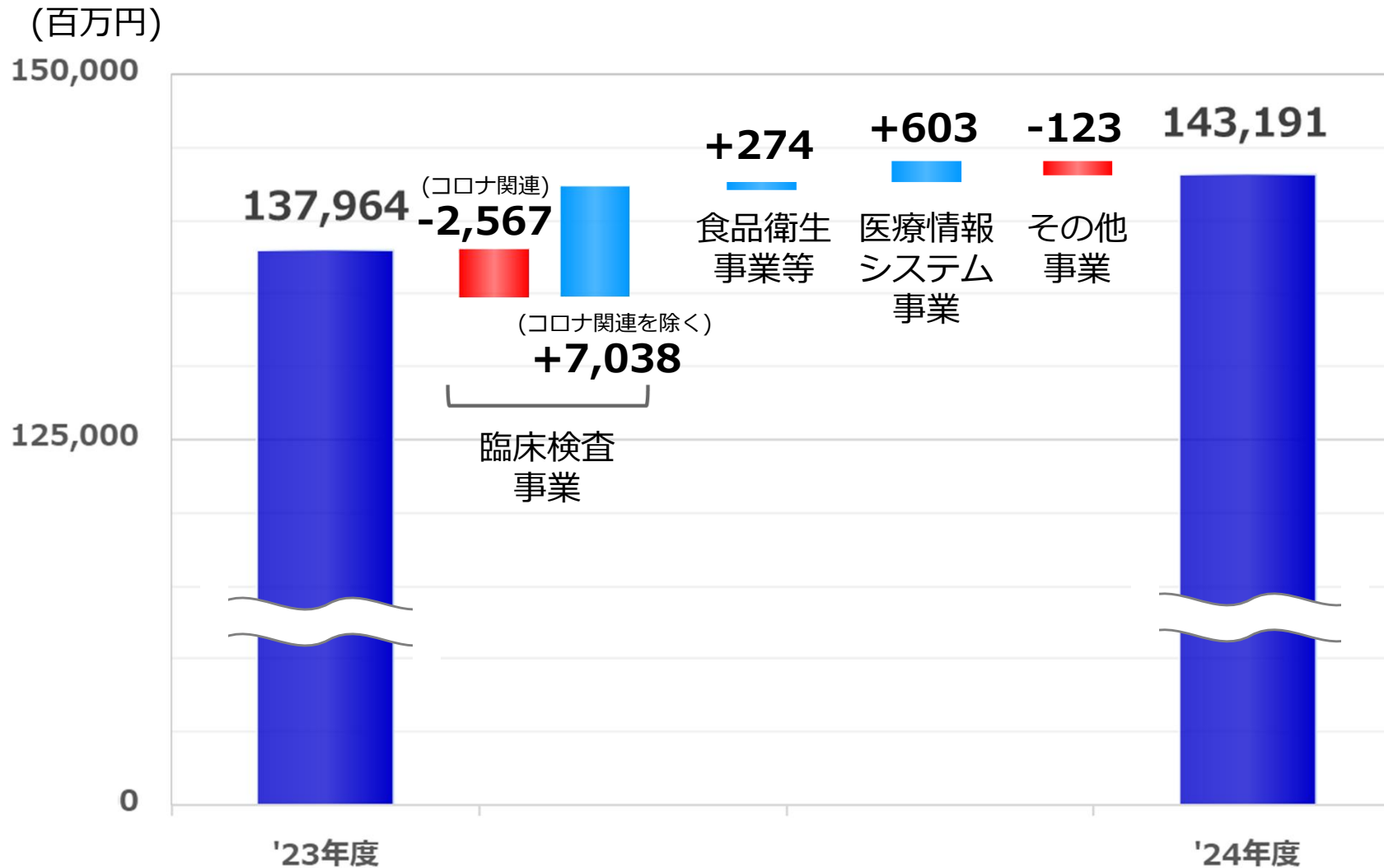
コロナ関連検査を除いた売上高は堅調に推移



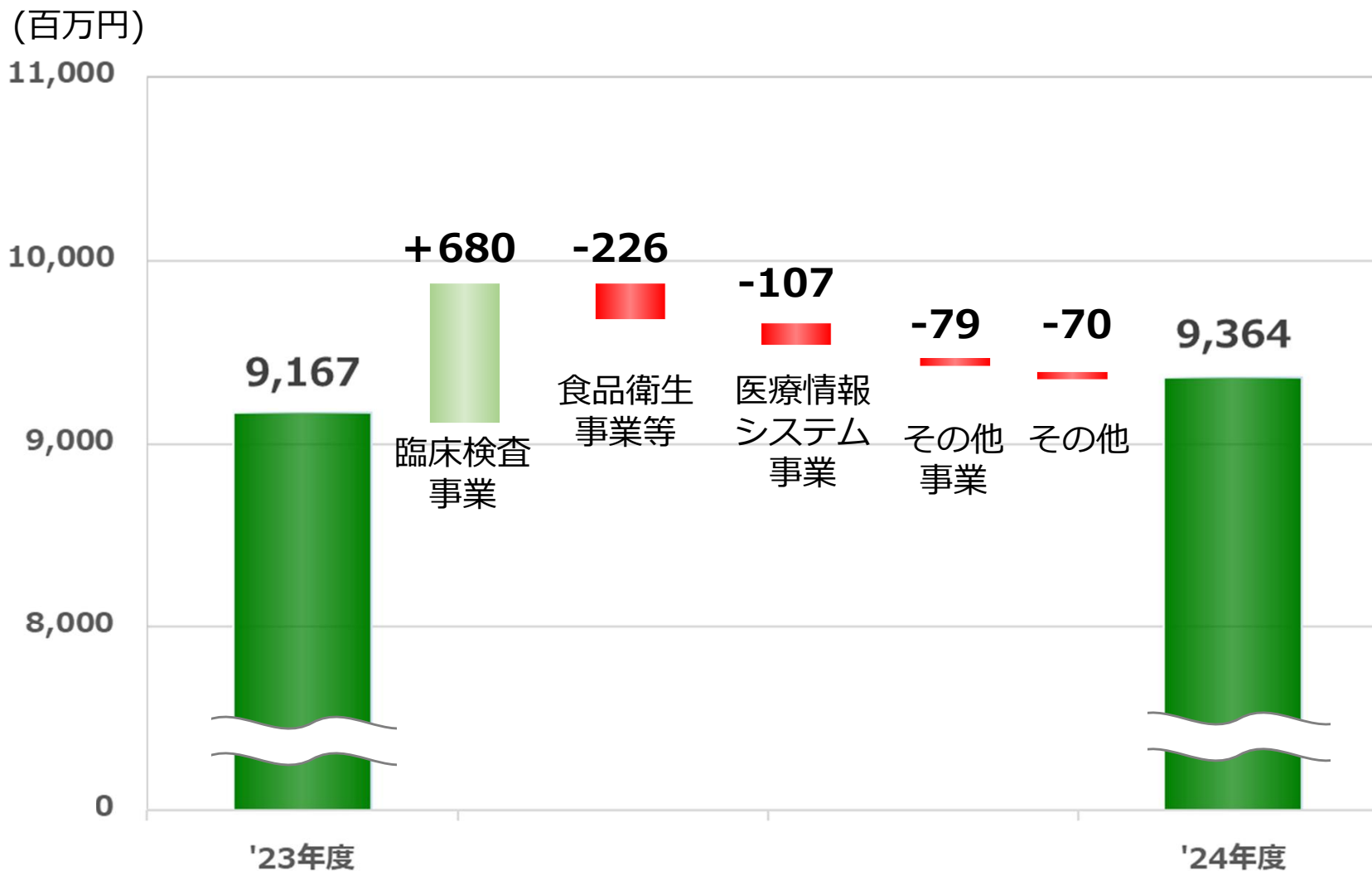
前年度業績比較表

	'23年度	'24年度	増減額	増減率
				(百万円)
売上高	137,964	143,191	5,226	3.8%
検査事業	131,473	136,219	4,745	3.6%
臨床検査	126,454	130,925	4,471	3.5%
食品衛生	5,019	5,294	274	5.5%
医療情報システム	4,874	5,478	603	12.4%
その他事業	1,616	1,493	-123	-7.6%
営業利益	9,167	9,364	196	2.1%
経常利益	9,605	9,970	365	3.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,034	6,263	229	3.8%
EBITDA	15,745	16,892	1,146	7.3%

売上高 前期比 52億26百万円 (3.8%) 増収

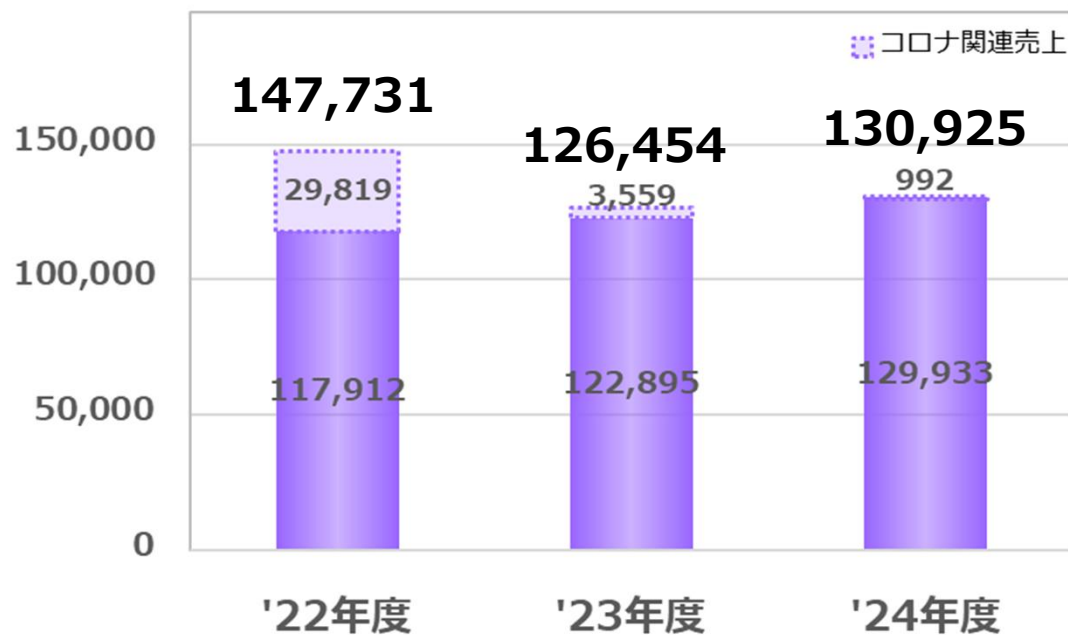


営業利益 前期比 1億96百万円 (2.1%) 増益



売上高 1,309億25百万円
 前期比 44億71百万円 (3.5%) 増収

(百万円)

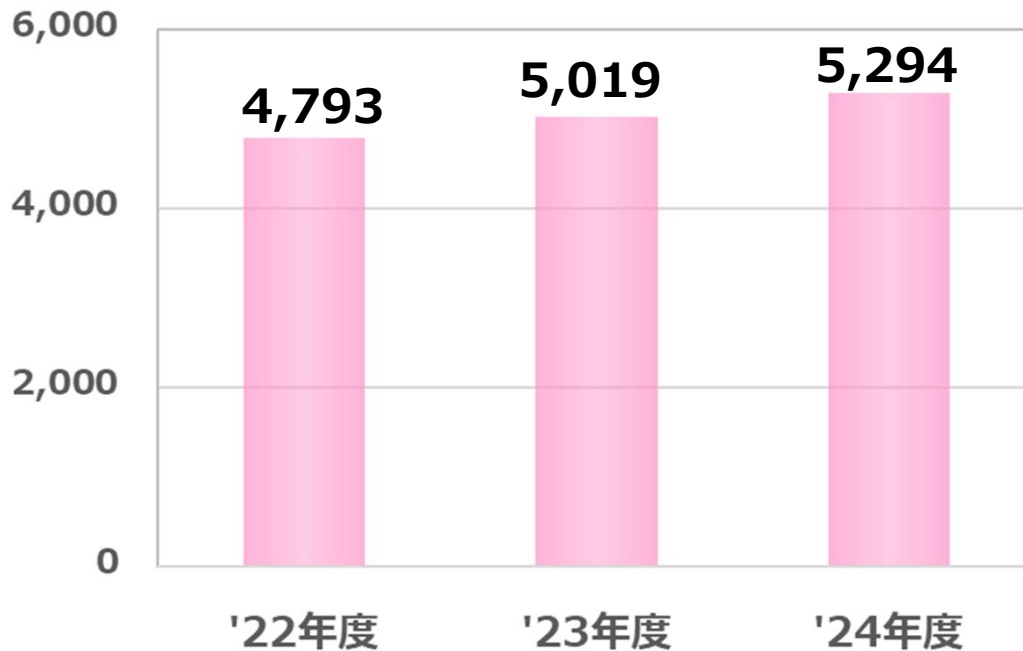


主なトピック

- ✓ 新規獲得
 - ・ 新規顧客を順調に獲得
- ✓ 価格の適正化を推進
 - ・ 不採算項目の見直し
 - ・ コスト上昇分の価格転嫁
- ✓ 価格変動
 - ・ +0.36%の上昇

売上高 52億94百万円
前期比 2億74百万円 (5.5%) 増収

(百万円)

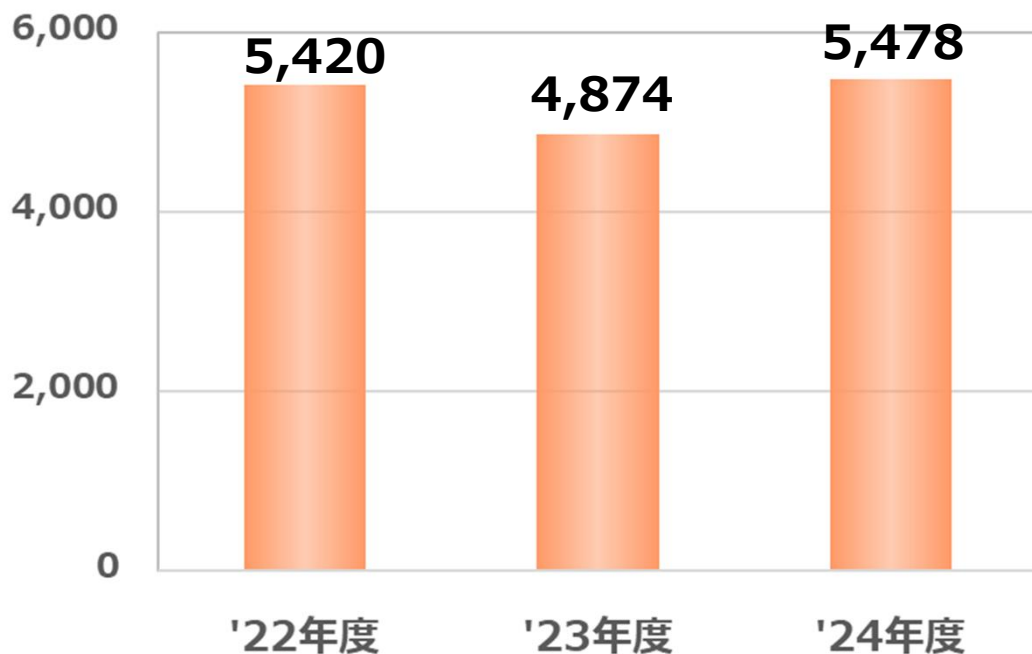


主なトピック

- ✓ 食品コンサルティング
 - ・ 総合取引提案を推進したことにより店舗点検や表示点検等の受注が増加
- ✓ 腸内細菌検査
 - ・ 取引先数の増加に伴い通常検便やノロウイルス検便の受託数が堅調に推移

売上高 54億78百万円
前期比 6億3百万円 (12.4%) 増収

(百万円)

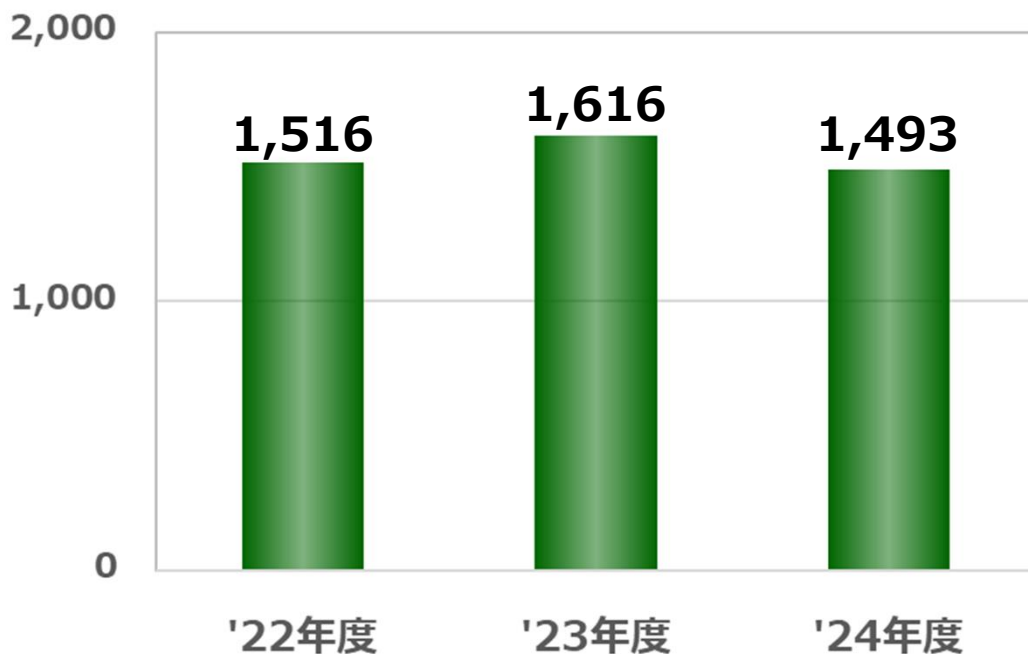


主なトピック

- ✓ リプレイス
 - ・ リプレイス需要に確実に対応

売上高 14億93百万円
 前期比 1億23百万円 (7.6%) 減収

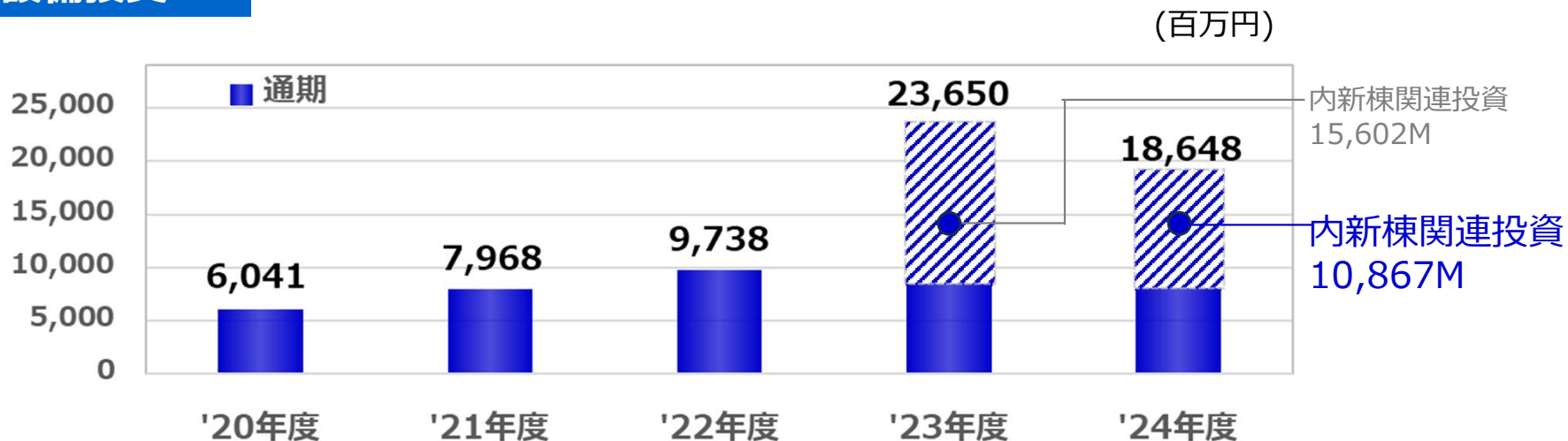
(百万円)



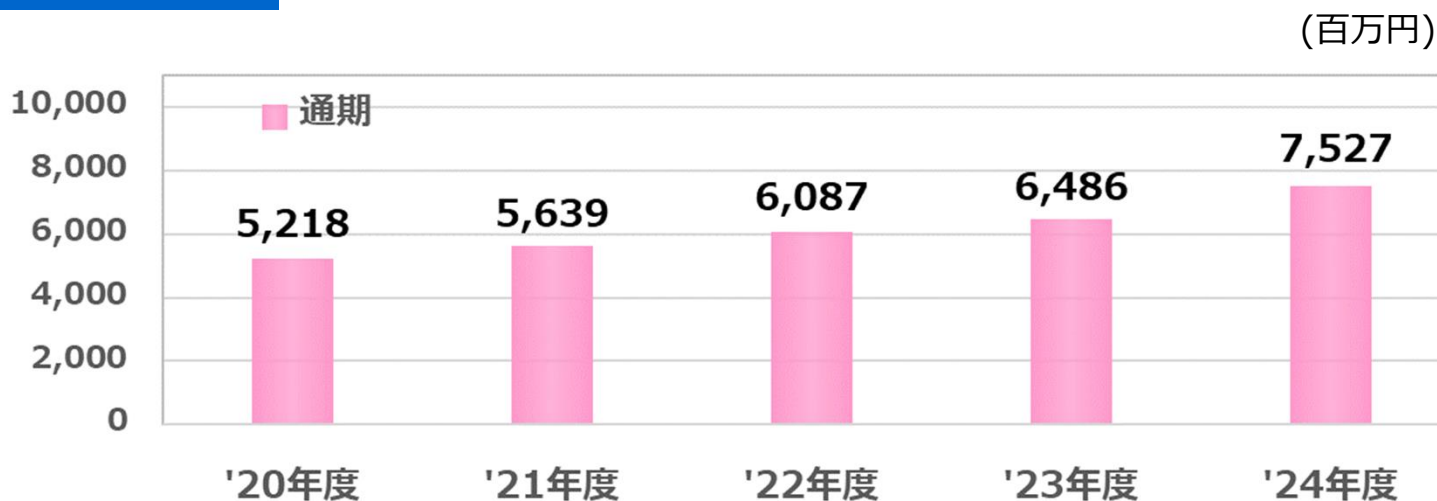
主なトピック

- ✓ 調剤薬局事業
 - ・ 薬価引下げ
- ✓ 治験医療機関支援(SMO)業務
 - ・ 睡眠障害の大型案件への対応が終了

設備投資



減価償却費



(百万円)

	'23年度	'24年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,446	15,809	1,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	-21,137	-16,793	4,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	-5,733	-5,426	307
現金および現金同等物の期末残高	70,338	63,928	-6,410

主な増減の内容

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益 : +149
 法人税等の支払額 : +1,271

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

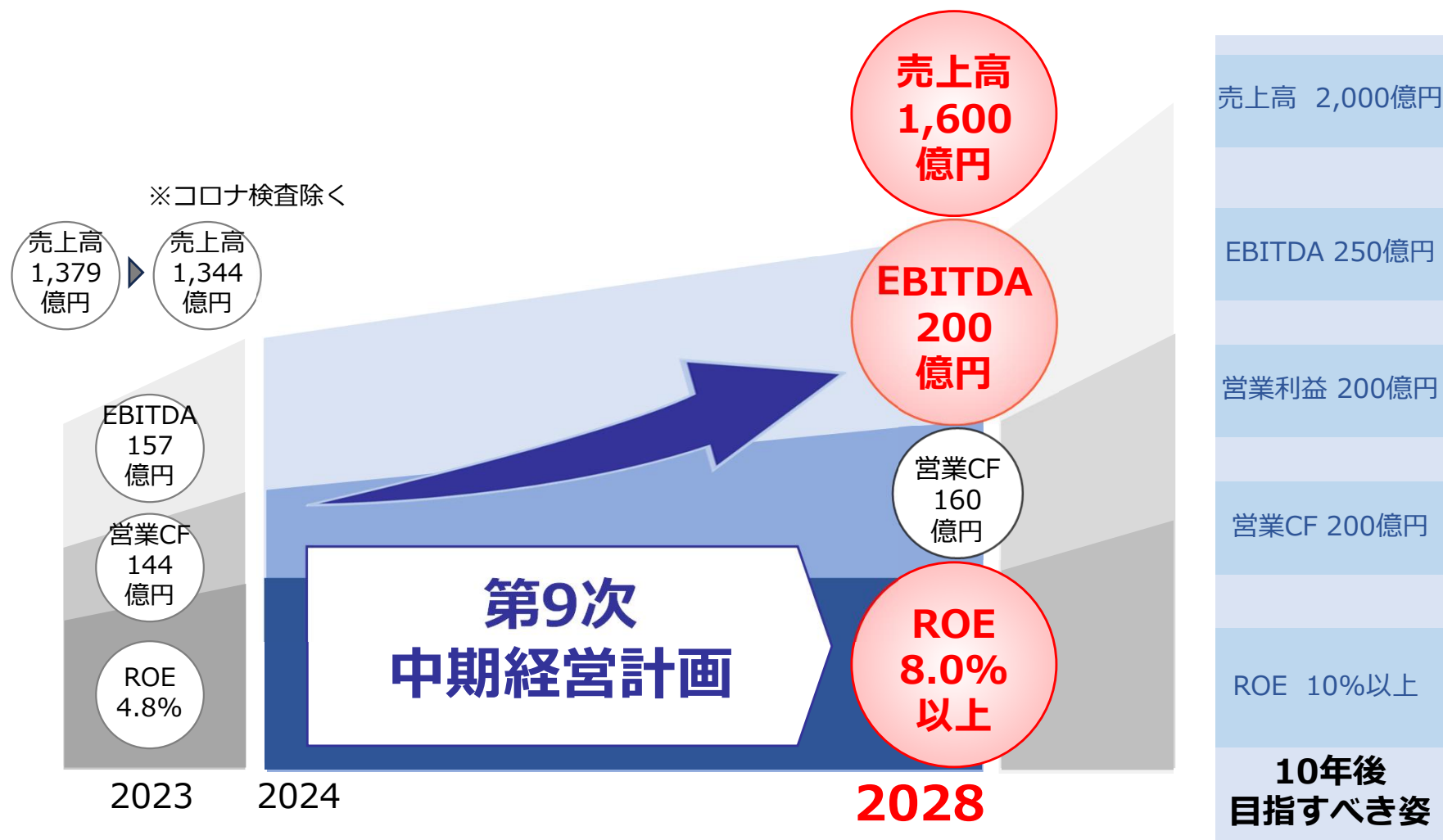
有形固定資産の取得による支出 : +3,866
 無形固定資産の取得による支出 : +402

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

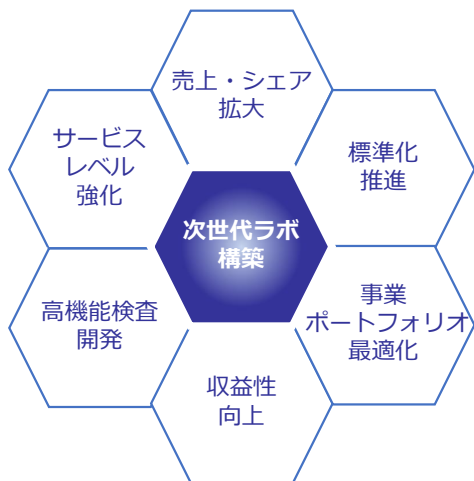
配当金の支払額 : +390

第9次中期経営計画の進捗

- 安定した売上成長
- 新棟・DX・価格戦略効果による収益の飛躍的向上
- バランスのとれた成長投資と株主還元

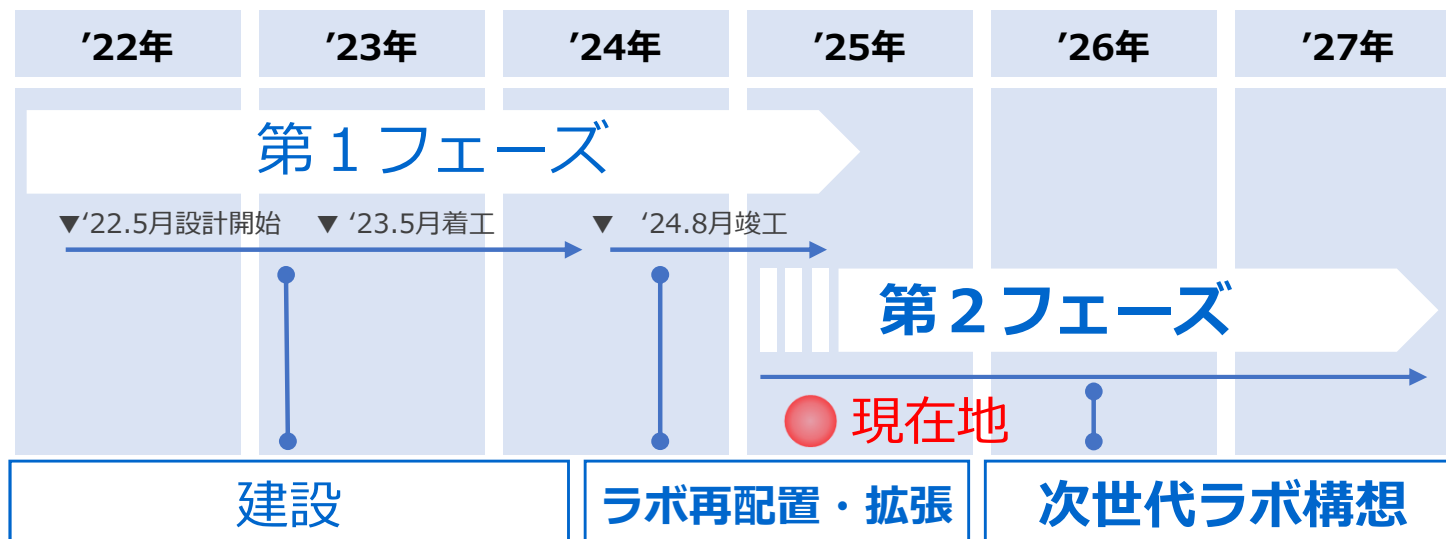






ロードマップ

- 第1フェーズ：新棟建設によるBCP/環境対策と検査スペースの拡張
- 第2フェーズ：将来の業容拡大に合わせた検査処理能力・効率の向上



BML総合研究所新棟



<北側側壁>



<南側側壁 太陽光パネル>



<1階部分はピロティ>



<免震構造>



<Labcorp棟>

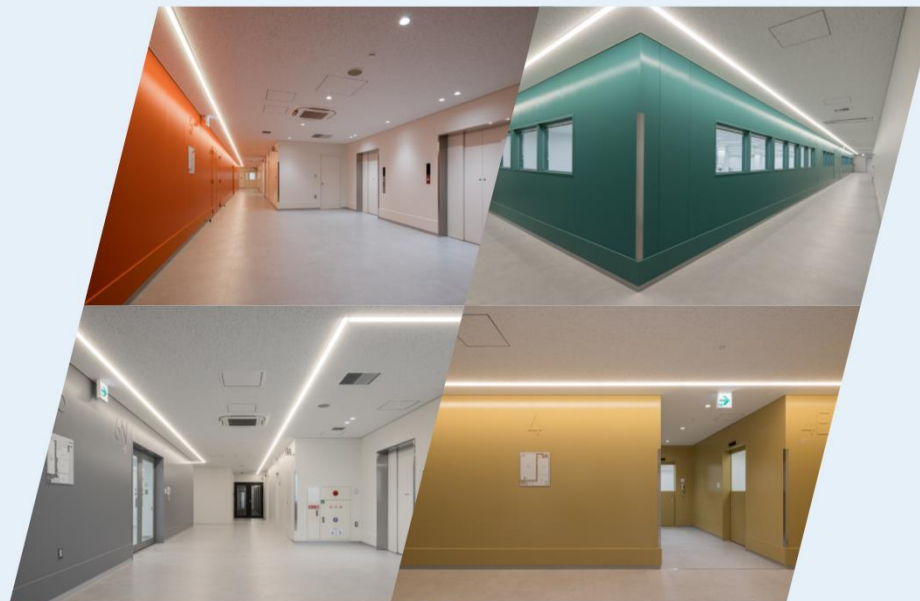
BML総合研究所新棟



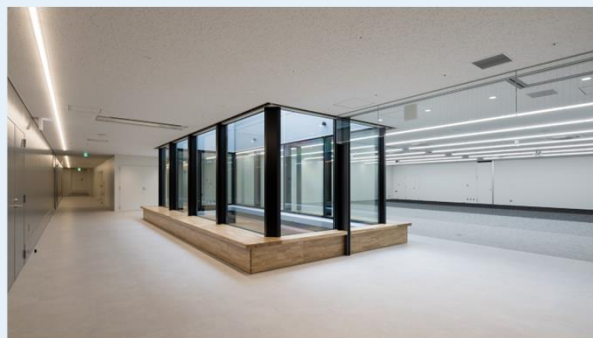
<2F ヘマトロジー検査室>



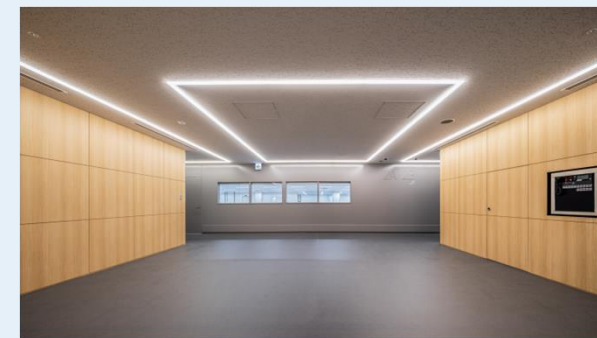
<3F 細菌検査室>



<各フロア側壁>



<6F 多目的ホール>

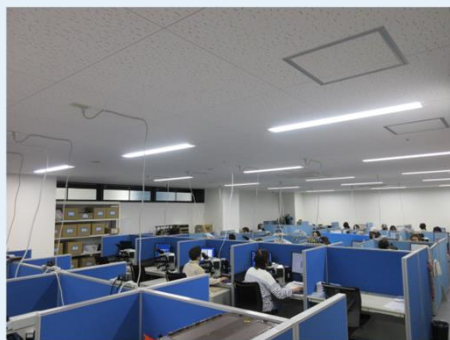


<2F 既存棟との接合フロア>

PCL新東京ラボ(市谷)



<建物正面>



<B1 細胞診判定>



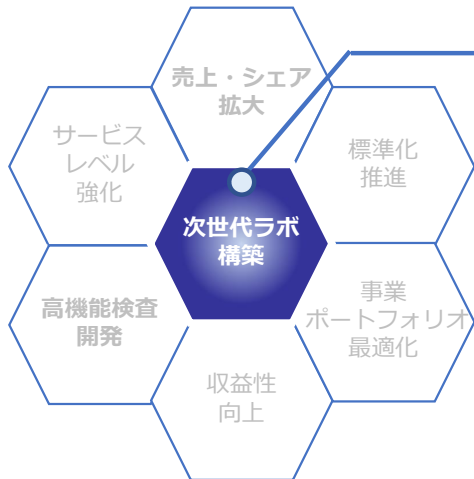
<1F 常勤病理医室>



<2F 検査室>



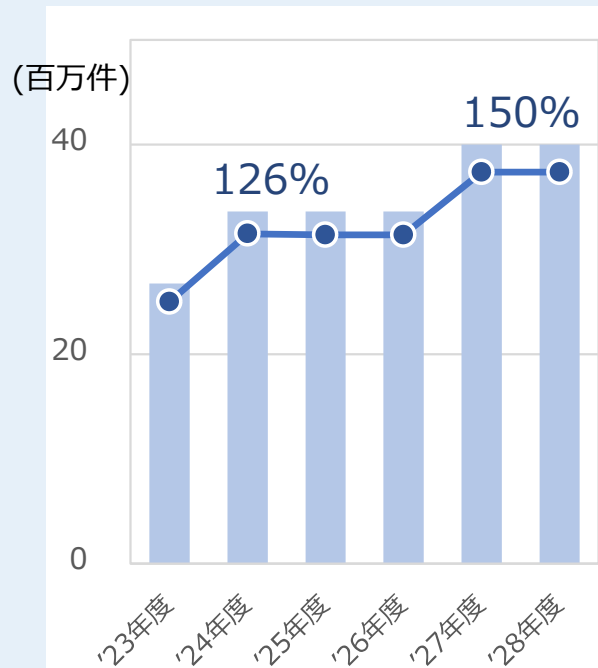
<2F ThinPrep5000プロセッサ(標本作製)>



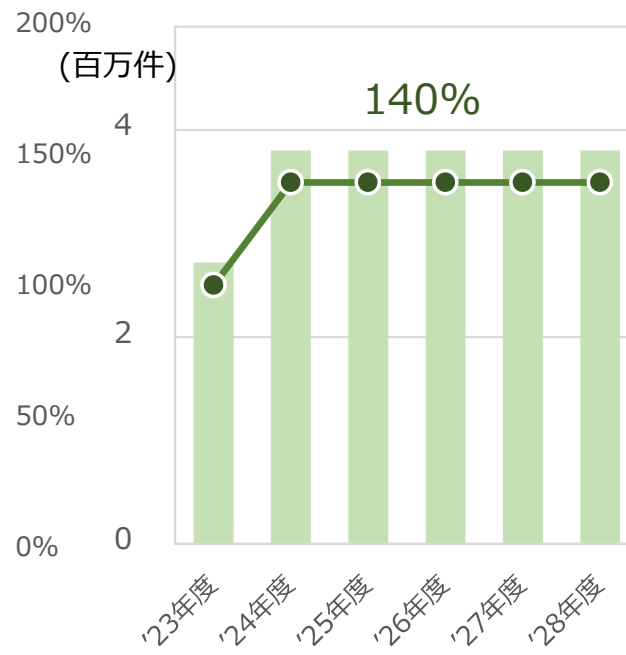
■ 新棟竣工に伴う検査キャパシティの拡張

✓ '23年度対比 **140~150%** の検査能力達成に向け
予定通り進捗

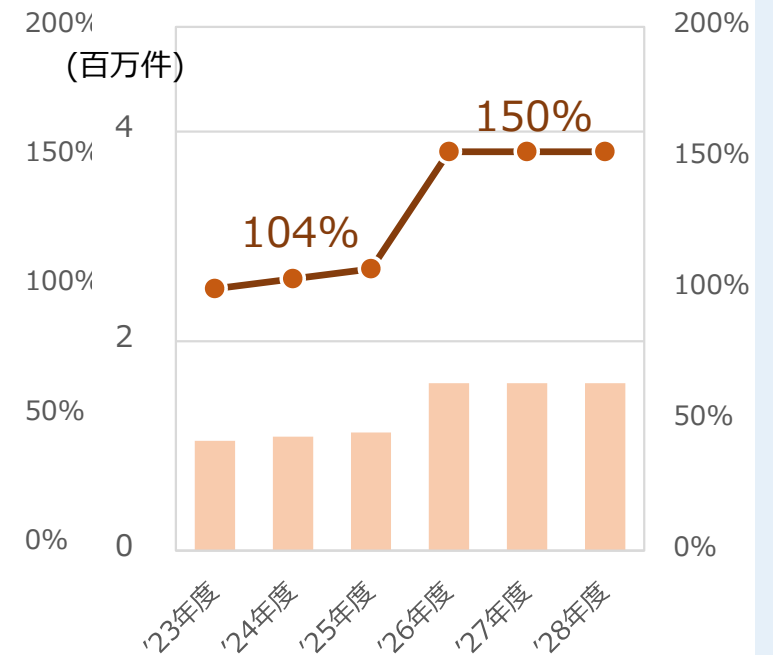
<ルーティン検査>

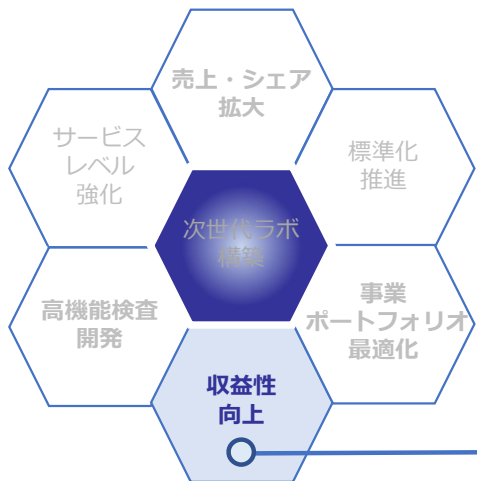


<微生物学的検査>



<ゲノム検査>



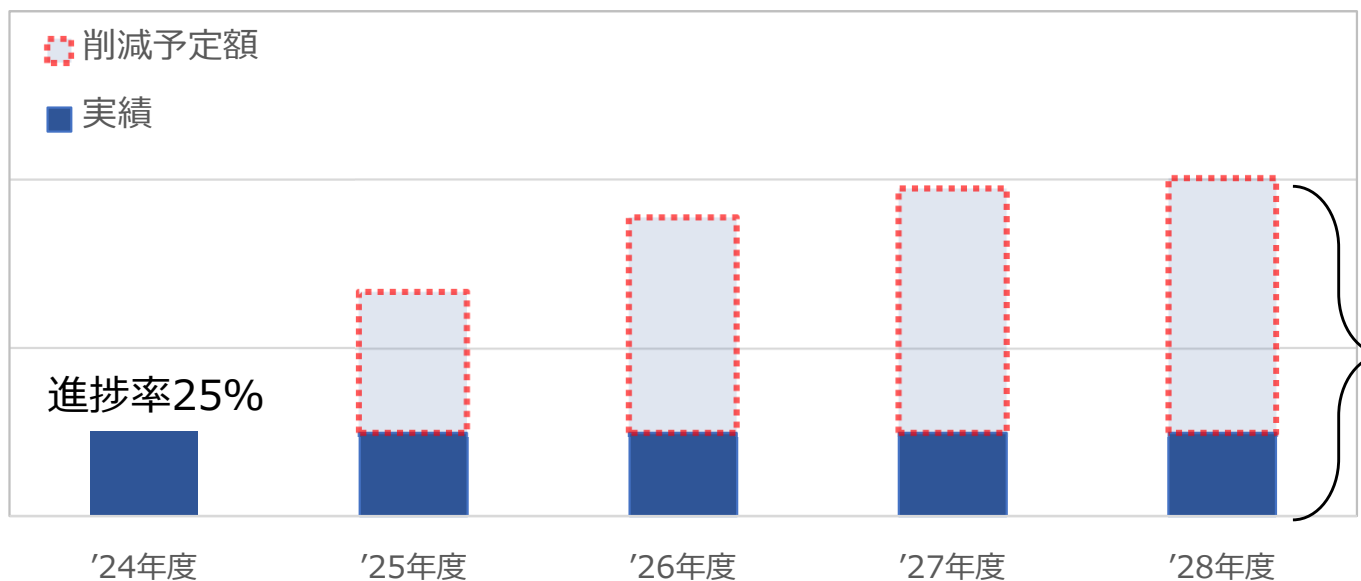


■ 新棟建設によるコスト削減

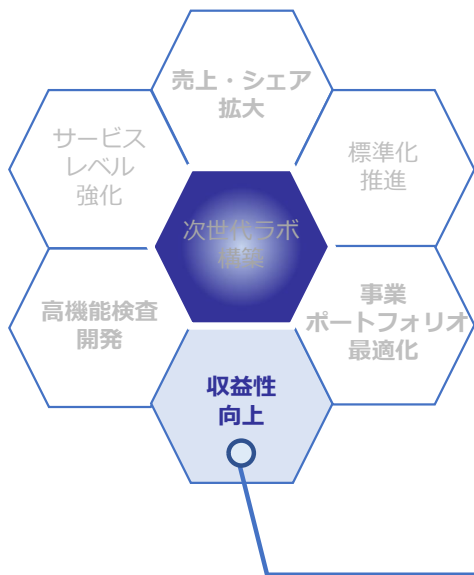
✓ 受付～報告工程：**10億円**の削減に向け順調に進捗

→ 中計目標対比で24年度末で25%の進捗

<コスト削減計画>



10億円



■ 臨床検査事業の採算性を抜本的に改善

✓ 以下の2つの施策を対応中

→ 価格の適正化：順調に進捗

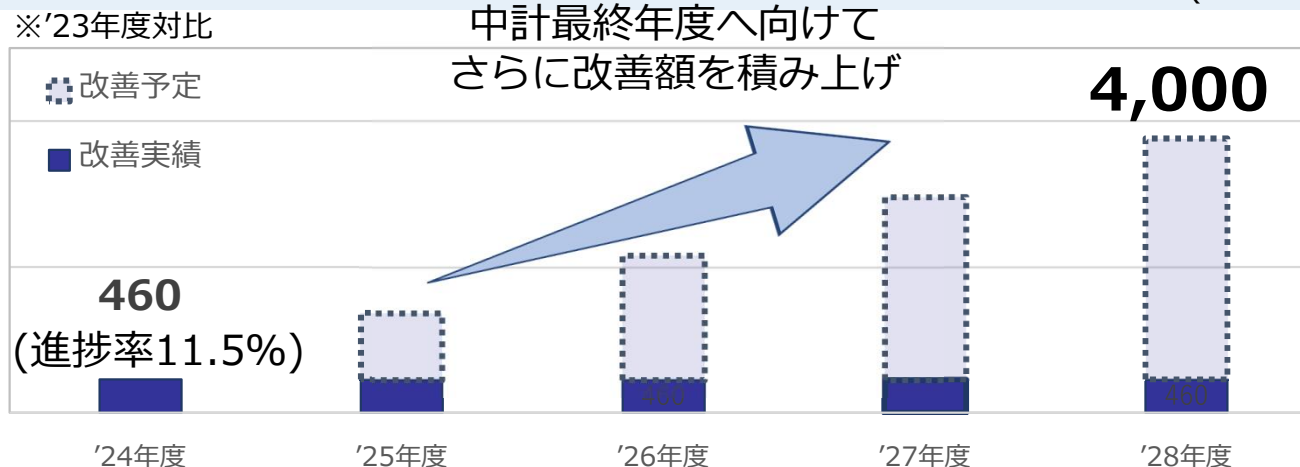
- ・ 不採算項目の価格適正化 294百万円 / 1,000百万円(29.4%)
- ・ コスト上昇分の価格転嫁 140百万円 / 200百万円(70.0%)

→ 集配体制の見直し：課題あり

- ・ パイロット地域での試行では、コース削減目標20%を達成。ただし、顧客交渉に時間がかかるため中計目標2,600百万を達成するには追加施策を要する

<収益改善額>

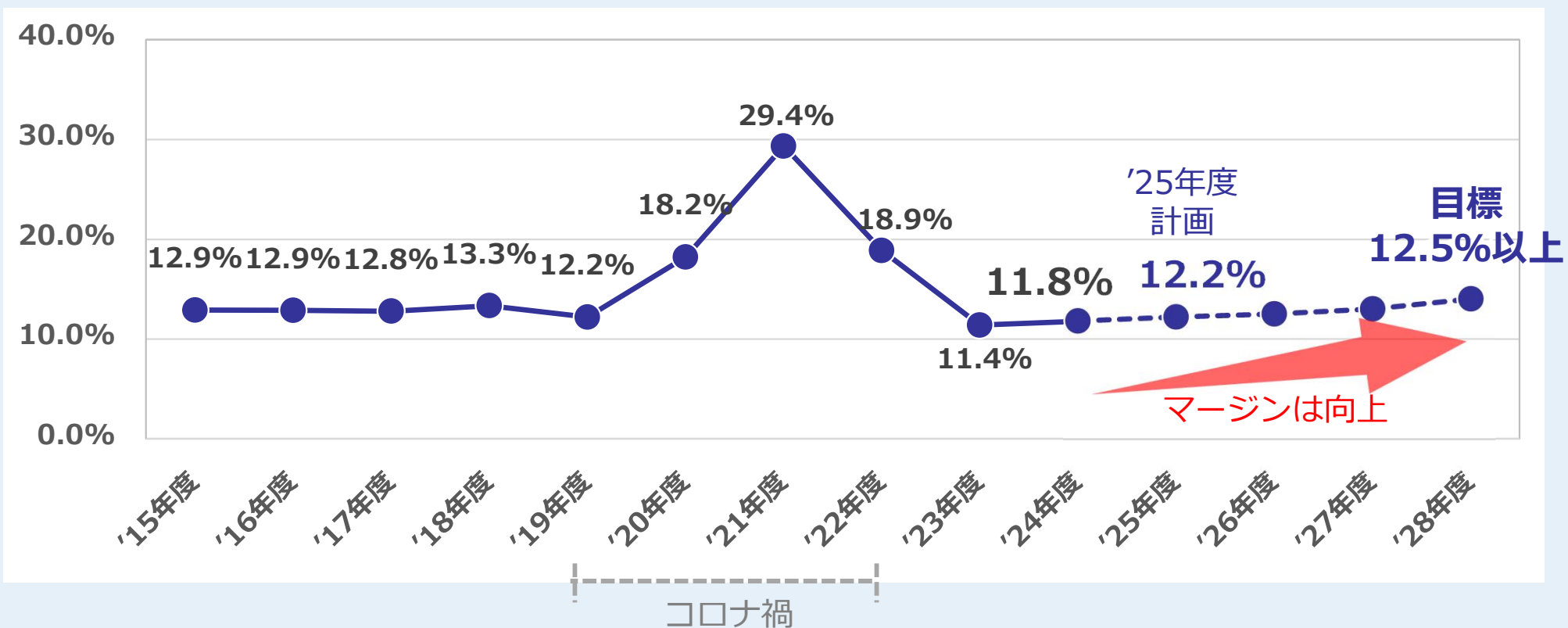
(百万円)

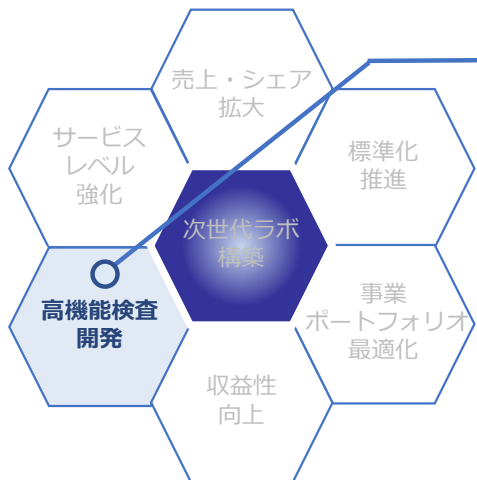


■ 収益性向上計画

- ✓ EBITDAマージンは'23年度をボトムに向上
- ✓ 早期にコロナ禍前の水準への回復をめざす

<EBITDAマージンの推移>



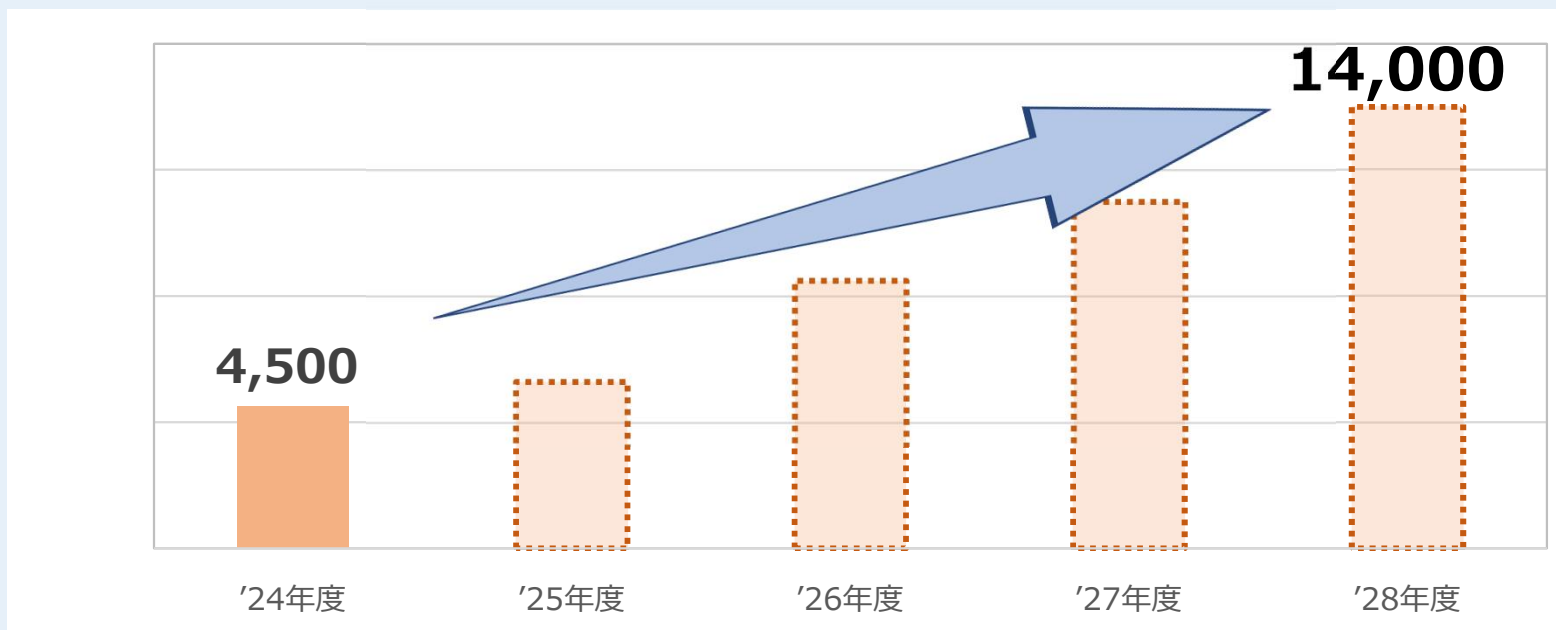


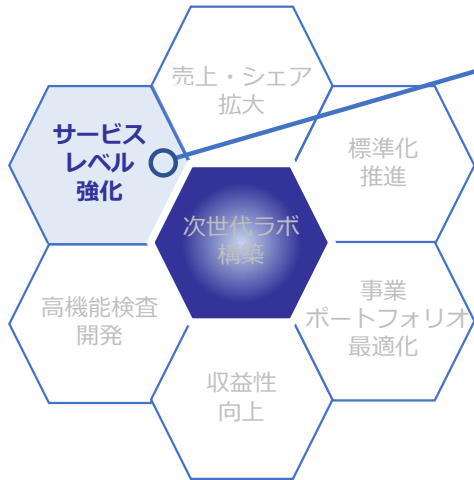
■ ゲノム検査ラインアップの拡充

✓ 内製・外注項目の双方を拡大することで、
'28年度に**140億円**の売上高を目指す

〈ゲノム検査売上計画〉

(百万円)

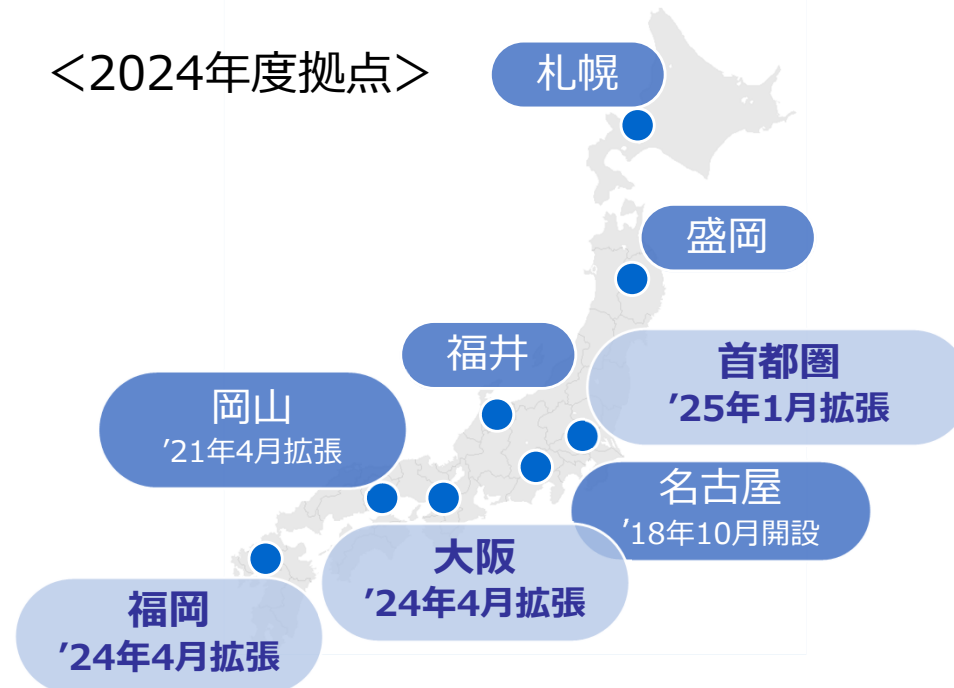


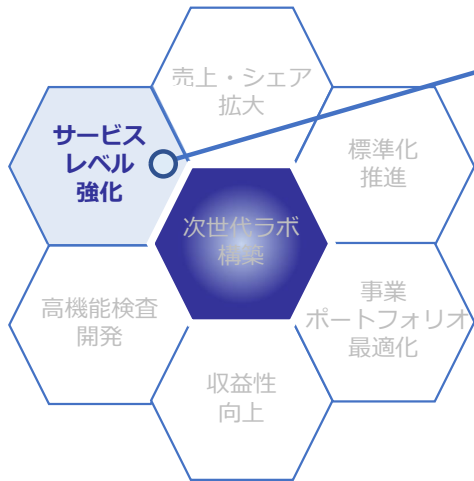


■ 微生物学的検査の地方展開・推進

- ✓ 各地方ラボの検査キャパシティを増強し**地産地消**体制を構築
→ **首都圏140%・大阪150%・福岡130%**
- ✓ 質量分析装置の導入
→ 札幌・首都圏・名古屋・大阪・岡山・福岡
- ✓ 地産地消体制ならびに質量分析装置導入により、
血液培養同定などの報告日数を1日短縮

<2024年度拠点>

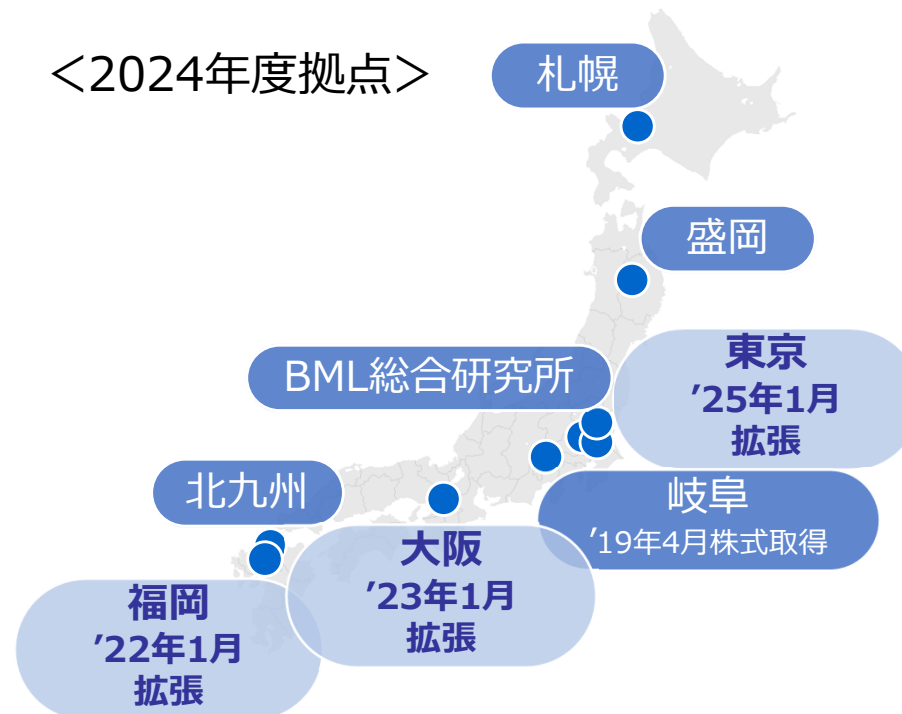




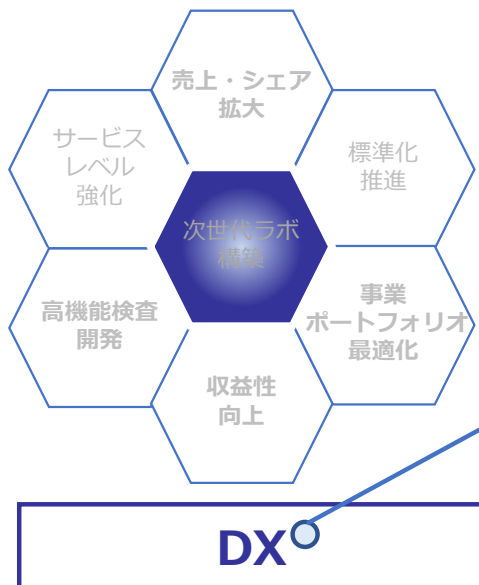
■ 病理学的検査の処理能力拡大

- ✓ 機能別に点在していた都内のラボを新東京ラボに集約
→ 運用の最適化を追求中
- ✓ 検査キャパシティの拡張
→ 拡張前比**東京200%**・**大阪260%**・**福岡120%**へ増強

<2024年度拠点>



DXへの取り組み



■ B-Label*による集配関連業務の削減

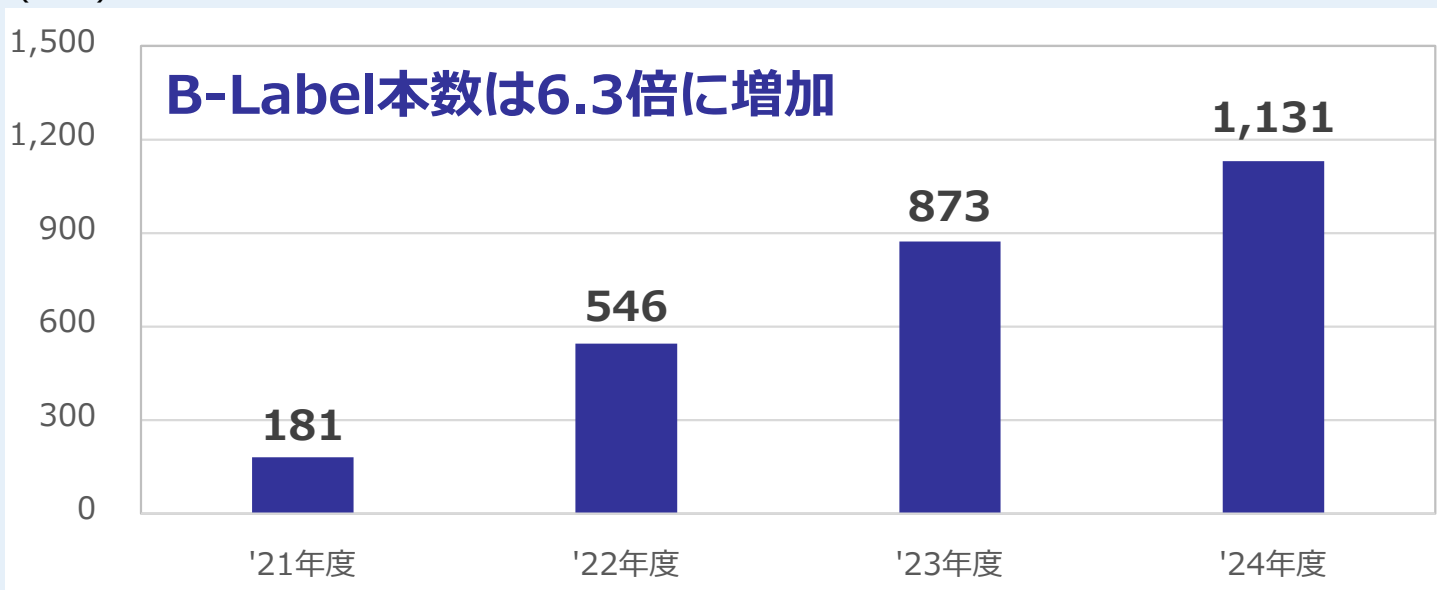
✓ 段階的に全国展開を推進

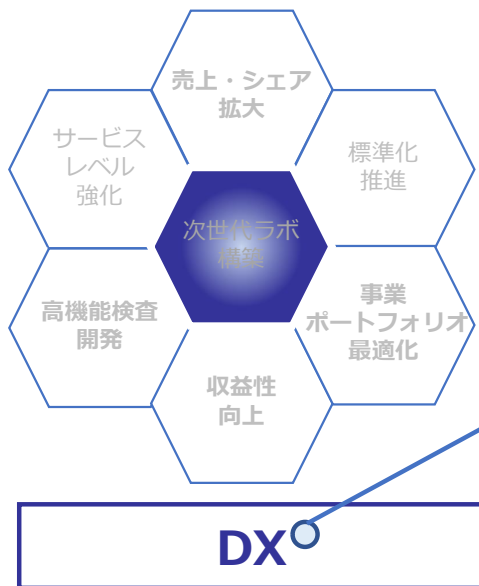
<22/103営業所で展開>

- B-Label検体数を推進活動開始前と比較し**6.3倍**に増加
- 受付部門人員数の**10%**削減を実現

* 患者属性・検査依頼情報が紐づけられたバーコード付き検体ラベル

(万本) <B-Label検体数の推移>

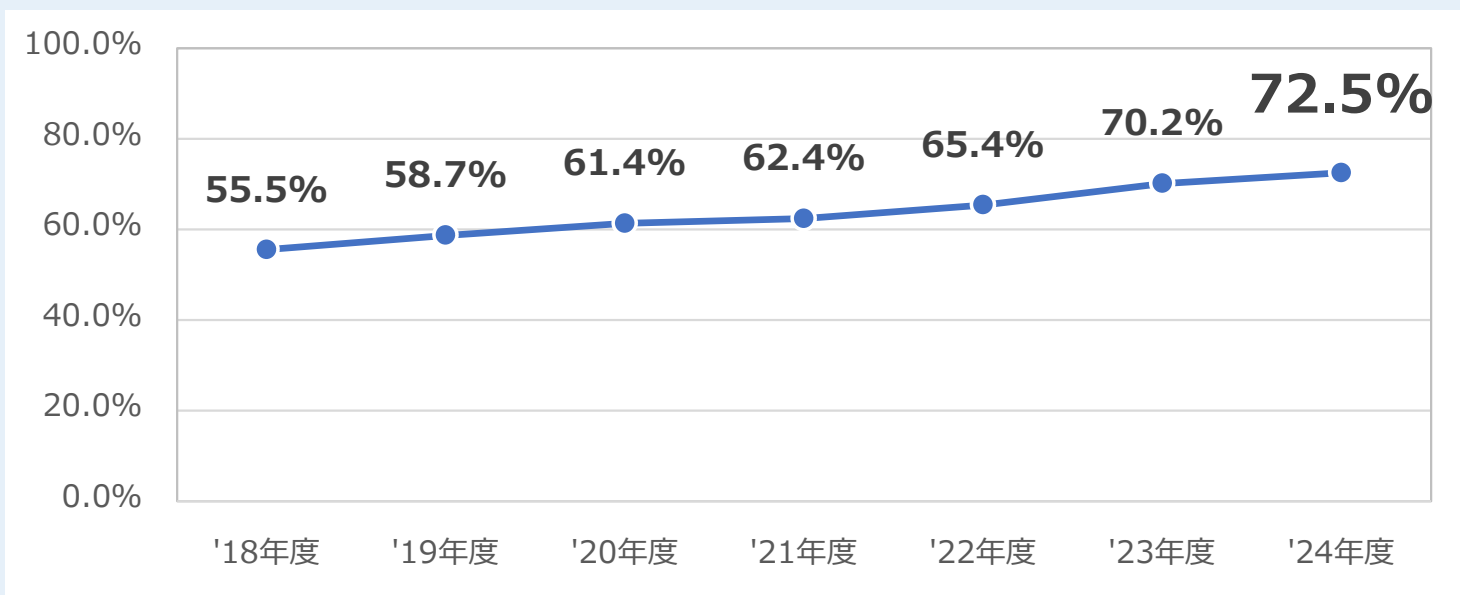




■ 検査依頼のオンライン化推進

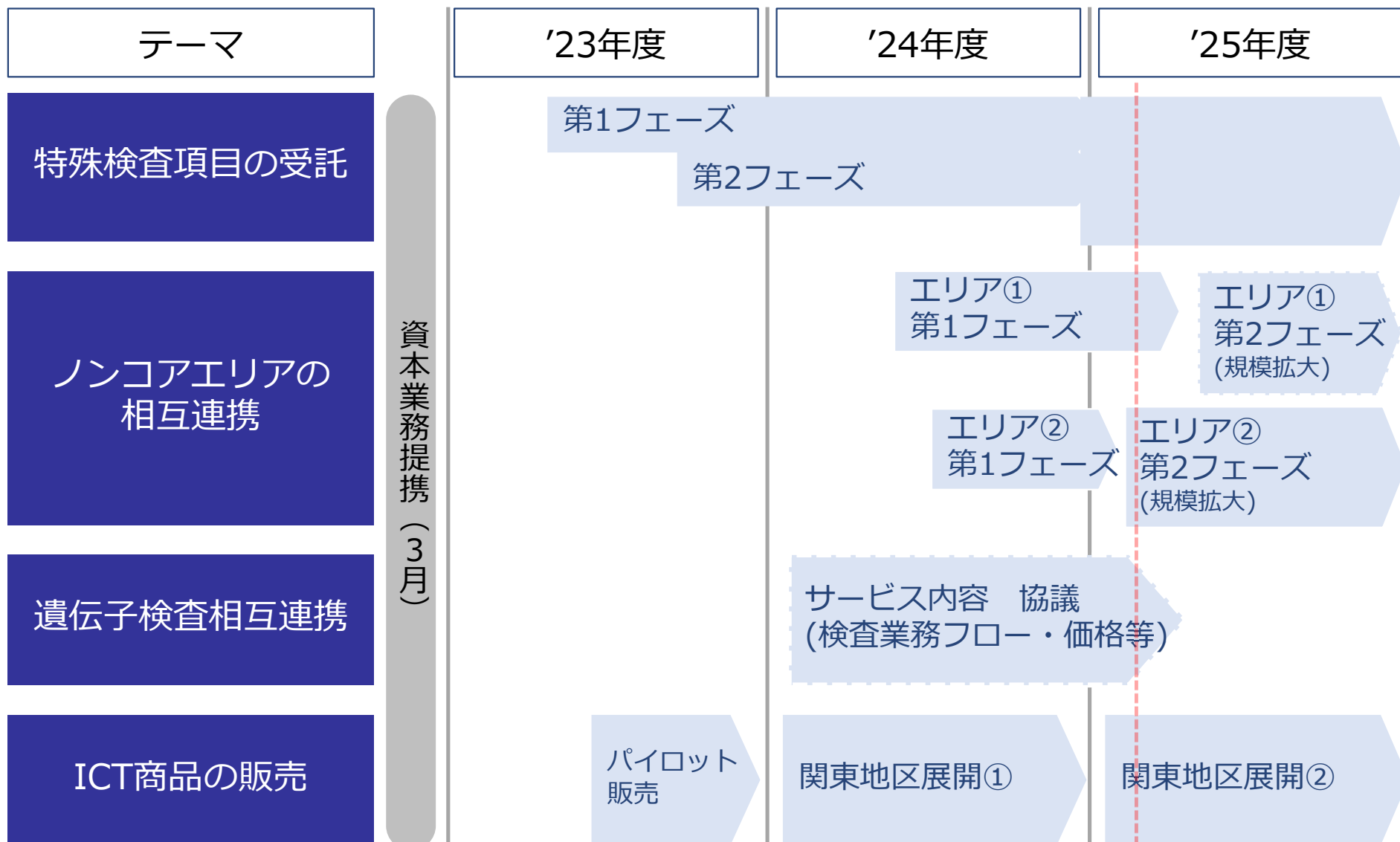
- ✓ 顧客：媒体(検査依頼書・USBメモリ)の使用を回避することで、依頼作業と個人情報流出リスクの軽減
- ✓ 当社：受付業務の負荷軽減

＜検査依頼のオンライン受託率推移＞



ファルコホールディングスとの 資本業務提携の進捗

業務提携推進スケジュール



資本業務提携 (3月)

● 現在地

テーマ

特殊検査項目の受託

当初予定していた約400項目の移管を完了

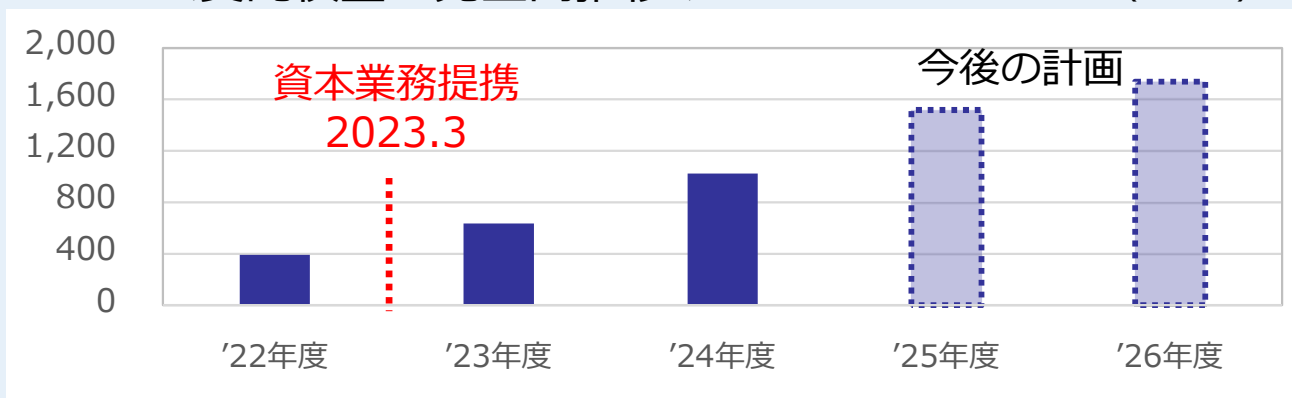
ノンコアエリアの
検査受託

ルーティン検査の受託を開始

検査売上
2.5倍

<受託検査の売上高推移>

(百万円)



遺伝子検査相互連携

'25年度からのNIPTの委託取扱いについてを協議中

ICT商品の販売

ファルコ社のICT商品(レセスタ)を約100施設に仲介

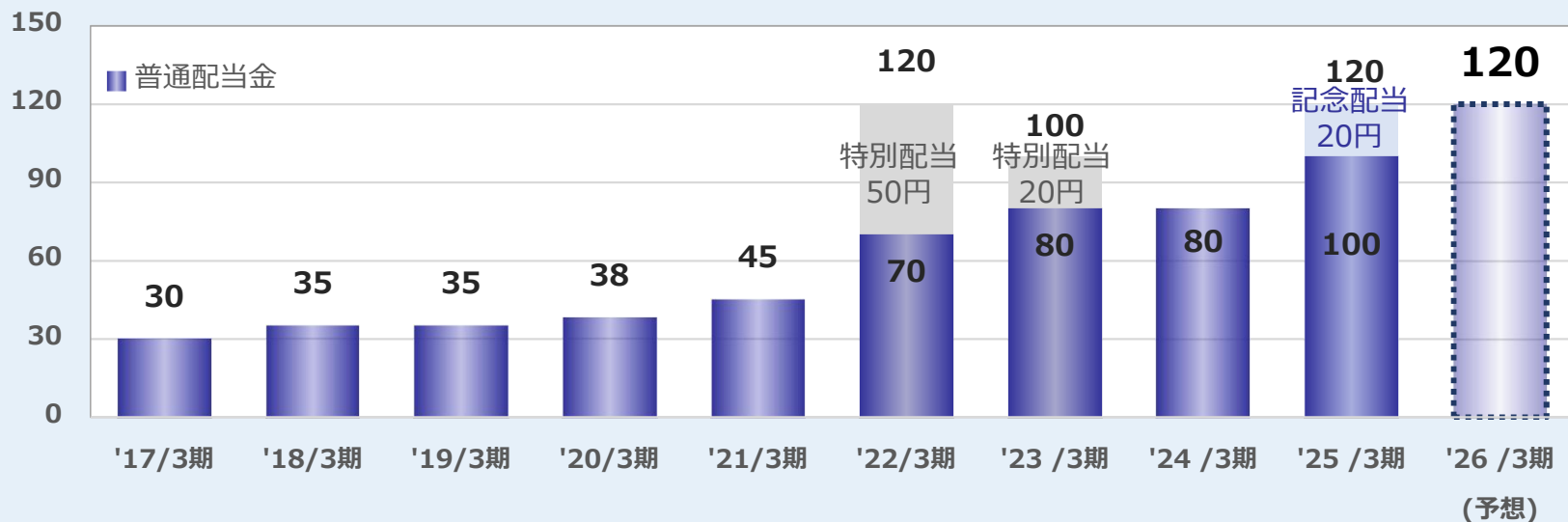
2025年度通期の見通し 株主還元

	'24年度	'25年度	(百万円) 増減額	増減率
売上高	143,191	148,000	4,809	3.4%
検査事業	136,219	140,800	4,581	3.4%
臨床検査	130,925	135,300	4,375	3.3%
食品衛生	5,294	5,500	206	3.9%
医療情報システム	5,478	5,700	222	4.1%
その他事業	1,493	1,500	7	0.5%
営業利益	9,364	9,000	-364	-3.9%
経常利益	9,970	9,600	-370	-3.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,263	6,000	-263	-4.2%
EBITDA	16,900	18,000	1,100	6.5%

- 新棟関連費用(減価償却費)の増加に伴い減益予想
- 一方でEBITDAは、180億円で11億円の増加

- 第9次中期経営計画の還元方針引上げ
 - ・ 配当性向60%以上かつ1株あたり**120円以上**
- '26年3月期の配当金は'25年3月期の70周年記念配当 (20円)を普通配当の原資に含め、普通株式1株につき年間120円を予想 (配当性向予想 25年3月期74.7%・26年3月期78.0%)
- さらなる株主還元策の強化

(円) <配当金の推移>



Appendix

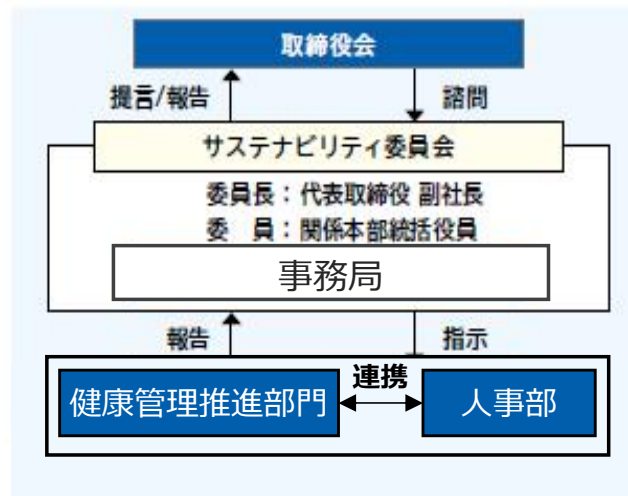
健康経営

■ BML健康宣言

【豊かな健康文化を創造します。】

ビー・エム・エルグループは、この企業理念を実現するために、職員一人ひとりが健康第一の風土醸成を通じて、健康経営を推進し、豊かな健康文化の創造に貢献することを宣言します。

■ 健康経営推進体制



■ 『健康経営優良法人 ～ホワイト500～』 に 3年連続で認定されました



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500

健康経営

- 産業医監修の下、各種KPI(指標)とその目標値を設定し、達成に向けて取り組んでいます

評価指標		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025目標
定期健康診断受診率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
適正体重の割合 (BMI 18.5~25未満)	男性	61.2%	64.7%	63.1%	61.4%	63.0%
	女性	64.9%	69.2%	65.1%	65.9%	67.0%
非喫煙率		78.1%	78.8%	79.6%	80.0%	82.0%
運動習慣のある従業員		15.4%	16.2%	14.7%	18.1%	17.0%
ストレスチェック受検率		71.7%	86.6%	87.4%	92.3%	80.0%
月間所定外労働時間 (管理職含む)		21.0時間	16.8時間	16.2時間	16.6時間	18.3時間
年次有給休暇取得日数		10.9日	12.1日	12.3日	12.4日	12.0日
健康増進研修参加率		98.2%	99.5%	98.9%	100.0%	100.0%
メンタルヘルス研修		97.0%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%
プレゼンティーズム ^{※1}		—	80.8%	80.2%	79.0%	83.0%
アブセンティーズム ^{※2}		—	2.4日	2.6日	2.9日	2.3日
ワークエンゲージメント ^{※3} (ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度)		—	3.02	3.01	2.86	3.20

※1 プレゼンティーズム : 出勤しているものの、健康上の問題によって完全な業務パフォーマンスを出せない状況

※2 アブセンティーズム : 傷病による欠勤 ※3 ワークエンゲイジメント : 仕事に対する活力・熱意・没頭

医療界への貢献

■ 「Hematopaseo(ヘマトパセオ)」に関するスポンサーシップ契約の締結

→ 血液疾患の診療に携わる専門医や医療関係者との情報交換等を通じて、血液疾患診療の更なる発展をめざすことで医療界に貢献します

URL : <https://hematopaseo.jp>



The screenshot shows the Hematopaseo website interface. At the top, there is a search bar and navigation links for Home, Latest Hematology Papers, New Drug Information, Papers of Interest, Sharp Images, People to Know, and Facility Visits. Below this is a 'New Articles' section featuring a 'Congress Report' about the 66th Japanese Society of Hematology and Oncology Academic Meeting. The report title is '第66回日本小児血液・がん学会学術集会 レポート② 二学会合同シンポジウム「未来を見守る小児がん医療:長期フォローアップと成人移行を考える」'. The main article title is '小児がんサバイバーのLTFUにおける現状と課題 医師、看護師、MSWそれぞれの立場から説明'. To the right of the article is a poster for 'Always with You' from the Japanese Society of Hematology and Oncology Academic Meeting. On the far right, there are buttons for 'Log Out' and a blue box stating '2025年度 Hematopaseoは株式会社ビー・エム・エルのご支援で運営しています。' Below that is a 'Let's Try! HematoPuzzle' section with a crossword puzzle icon.



BML

A large, stylized swoosh graphic that starts as a blue arc at the top and curves down to a red line at the bottom, framing the text.

*Expanding
with
Passion
2028*

< 将来に関する記述等についてのご注意 >

本資料に記載されている将来に関する見通し、戦略、計画に関する記述等は、当社が現在入手している情報に基づく本資料作成時点での種々の前提に基づいた当社の判断であります。従ってこれらの記述・前提は、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。今後、様々な要因によって記載の見通しと異なる結果を生じえるリスクを含んでいます。また、今後予告なしに変更されることがあることをご了承下さい。